

2004年10月25日

---



# 第6期(2004年8月期) 決算説明会

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

この資料での数値は、特に指定がない限りすべて2004年8月31日現在です。

# 1. フューチャーベンチャーキャピタルについて

ヘラクレス上場  
コード8462

## フューチャーベンチャーキャピタル株式会社 (英語表記: Future Venture Capital Co., Ltd.)

(2004年10月25日現在)

■ 資本金	11億3625万円	■ 役員	代表取締役社長	川分陽二
			専務取締役	大橋克己
■ 設立年月	1998年9月		取締役投資本部長	木村美都
			取締役事業推進本部長	城下悦夫
■ 業務内容	ベンチャーキャピタル業務		取締役	金田泰明(非常勤)
			監査役	烏野伊蔵
■ 従業員数	38名		監査役	岡部陽二(非常勤)
			監査役	小川忠久(非常勤)

### 代表取締役社長 川分陽二



1953年5月生まれ。滋賀県彦根市出身。京都大学法学部卒業。

1977年、住友銀行(現・三井住友銀行)入行。1989年、日本アセアン投資(現・日本アジア投資(株))入社。投資部長、大阪支店長、審査部長、業務推進部長等を経て1997年6月取締役に就任。大阪支店長在任中(1992年より4年間)に、関西圏の未公開企業28社に対して約30億円を投資し、9社が公開・上場を達成。

1998年、フューチャーベンチャーキャピタル(株)を設立し代表取締役に就任。日本で初めての投資事業有限責任組合(フューチャー一号投資事業有限責任組合)を設立。

1999年、純民間VCで初めて、中小企業総合事業団(現・中小企業基盤整備機構)から出資を受ける。

2001年、地方では初となる自治体ベンチャーファンドを石川県にて設立。10月には、FVC設立からわずか3年でナスダック・ジャパン(現・大証ヘラクレス)に上場を果たす。

## 概観

個人創業独立系

京都本社

ヘラクレス上場

## 投資育成哲学

リスク・リターンバランス

現場主義

三方良し

米国VCの良さと  
日本の社会風土を融合させ

**企業家の夢の実現を応援**

## 活動領域

アーリーステージ重点

ものづくり重視

地方展開

## 運営

ハンズオン型

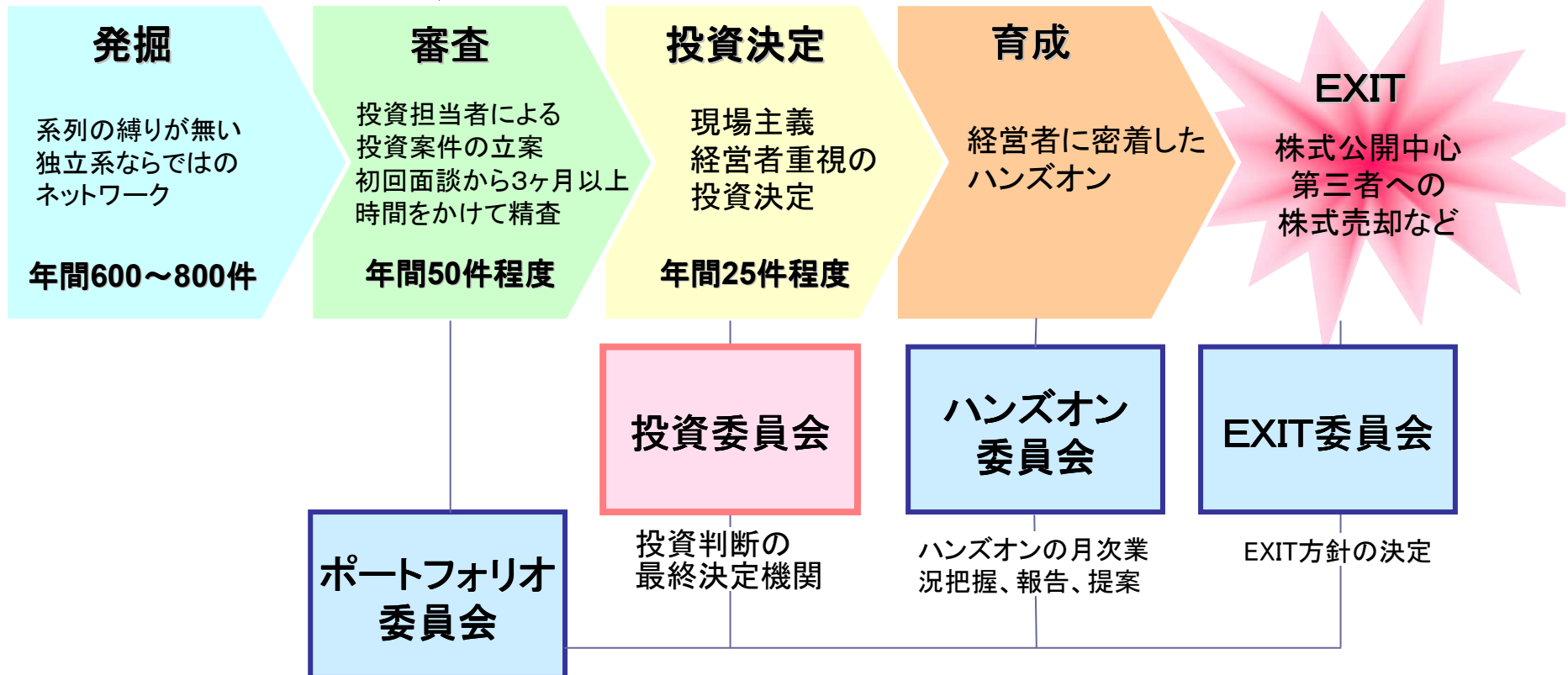
地域プラットフォーム構築

積極的なディスクローズ

# FVCのベンチャー企業投資プロセス

監査法人による  
ショートレビュー

新規立案案件に付き、  
IPOに向けての課題と  
財務面のリスクの再確認



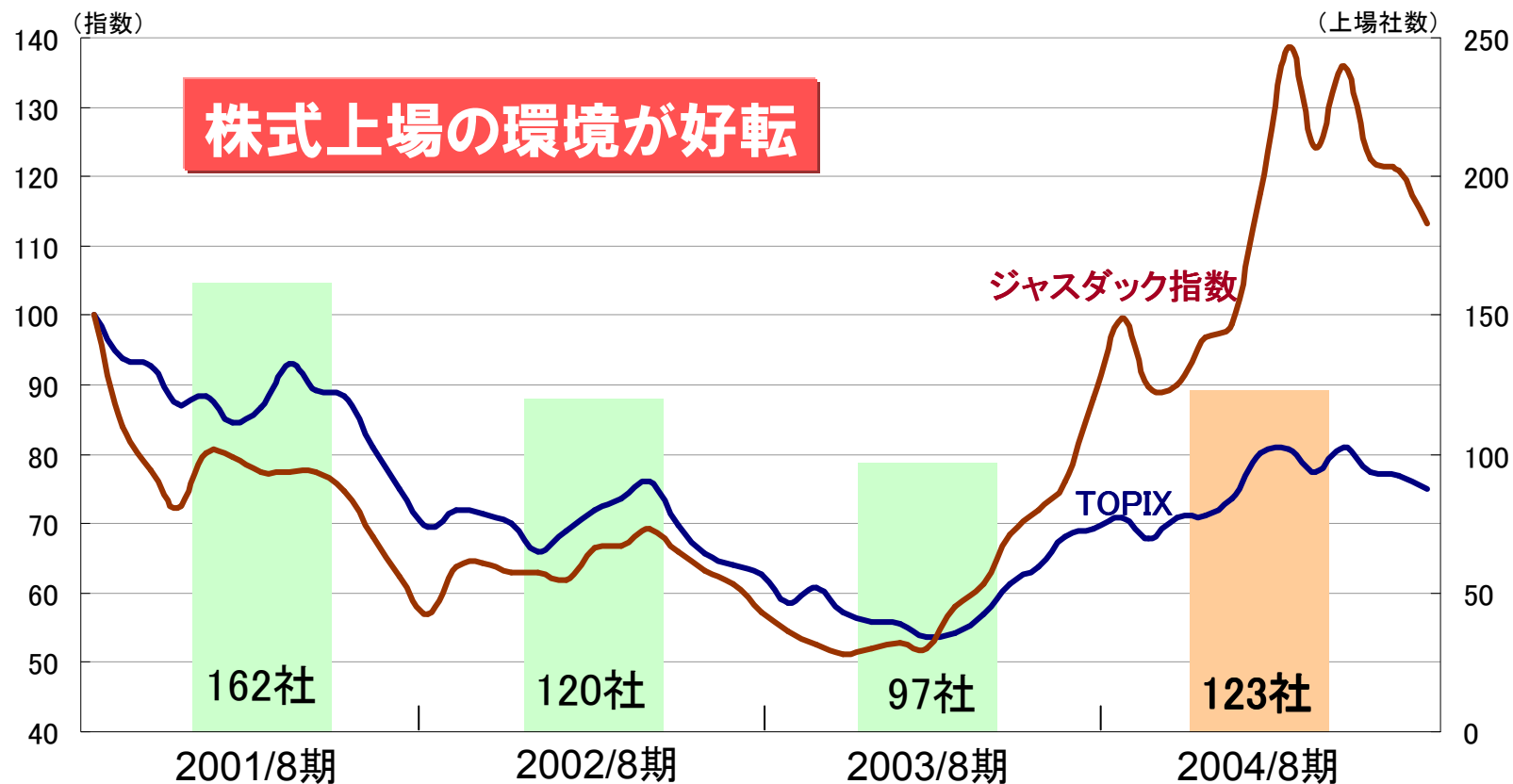
- > 投資ガイドラインチェック
- > 投資配分諮問
- > ポートフォリオリスク諮問

## 各種委員会との連携

---

## 2. 第6期(2004/8月期)決算の概要

## 《FVC決算期における新興3市場の上場企業数と TOPIX・ジャスダック指数の推移》



(新興3市場: JASDAQ、東証マザーズ、大証ヘラクレス(旧ナスダック・ジャパン))  
 (このグラフでのTOPIX・ジャスダック指数は、2000年9月の指数を100とし、  
 月次での変化を取ったものです)

# 第6期(2004/8月期)決算

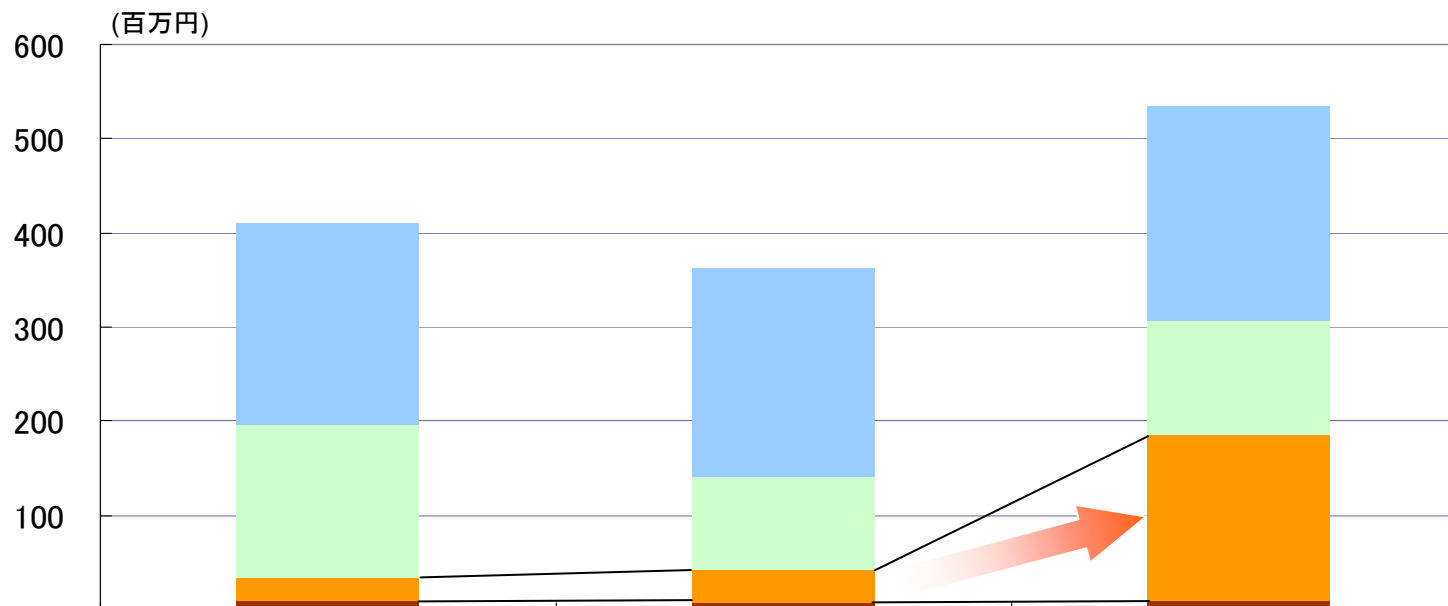


(単位:百万円)	第5期 (2003/8月期)	第6期 (2004/8月期)	増減
売上高	362	535	+ 173
営業利益	-228	13	+ 241
経常利益	-224	9	+ 233
当期純利益	-204	4	+ 208
株主資本	1,090	1,089	-1
総資産	1,748	1,636	-112
株主資本比率	62.4%	66.6%	+ 4.2%



# 売上高の内訳

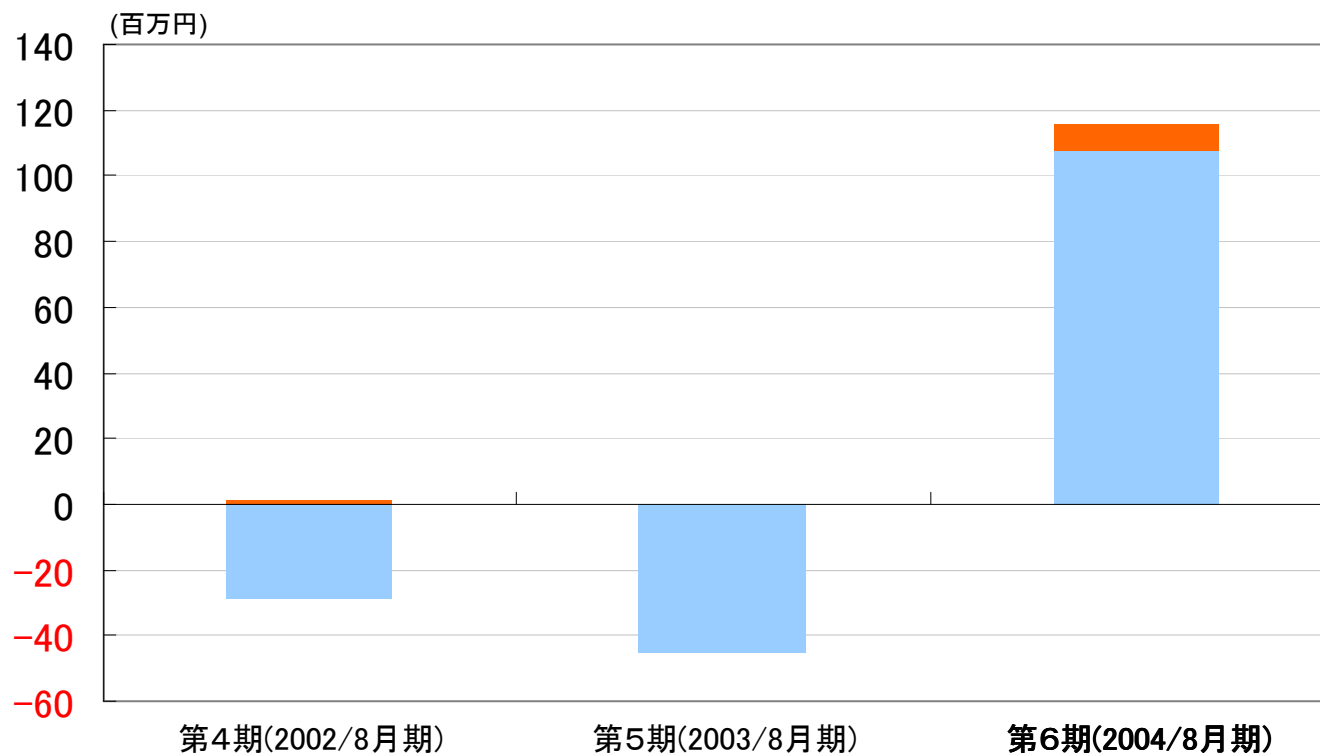
営業投資有価証券売上高が、前年比536%に増加



(単位:百万円)

	第4期(2002/8月期)		第5期(2003/8月期)		第6期(2004/8月期)	
投資事業組合等管理業務	213	52.0%	220	60.9%	227	42.6%
コンサルティング業務	162	39.6%	100	27.7%	121	22.6%
営業投資有価証券売上高	24	6.0%	33	9.1%	177	33.2%
その他	9	2.3%	7	2.1%	8	1.5%
計	409	100.0%	362	100.0%	535	100.0%

# キャピタルゲイン/ロスと成功報酬

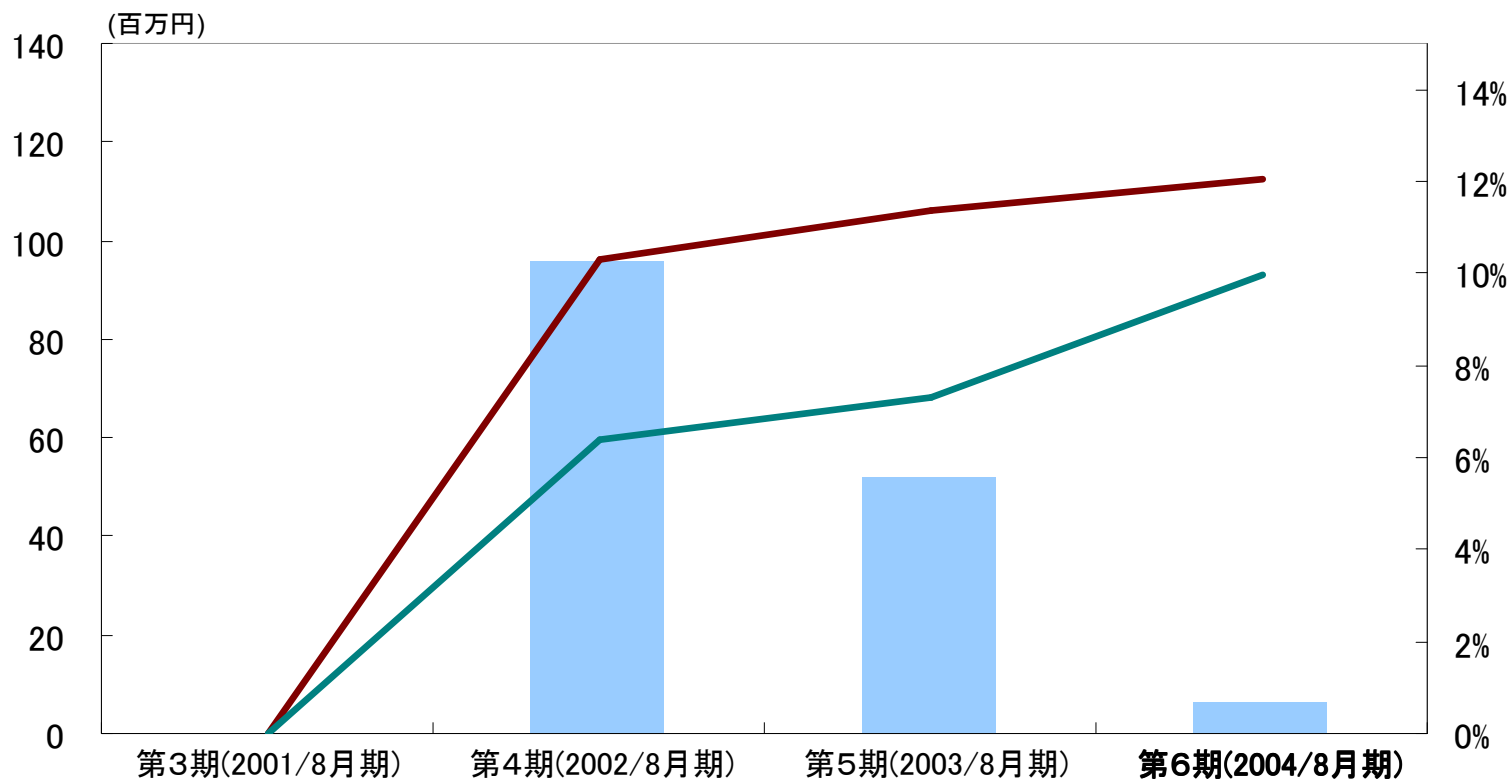


(単位:百万円)

	第4期(2002/8月期)	第5期(2003/8月期)	第6期(2004/8月期)
成功報酬	1	0	8
営業投資有価証券売上高	25	33	178
営業投資有価証券売上原価	54	79	70
キャピタルゲイン/ロス	-29	-46	108

※ キャピタルゲイン/ロス = 営業投資有価証券売上高 - 営業投資有価証券売上原価

# 投資損失引当金の推移



(単位:百万円)

	第3期(2001/8月期)	第4期(2002/8月期)	第5期(2003/8月期)	第6期(2004/8月期)
営業投資有価証券	1,217	1,506	1,455	1,127
引当金繰入額	0	96	52	6
引当金残高	0	96	106	112
営業投資有価証券に対する引当率	0	6.4%	7.3%	10.0%

# 第6期に設立したベンチャーファンド

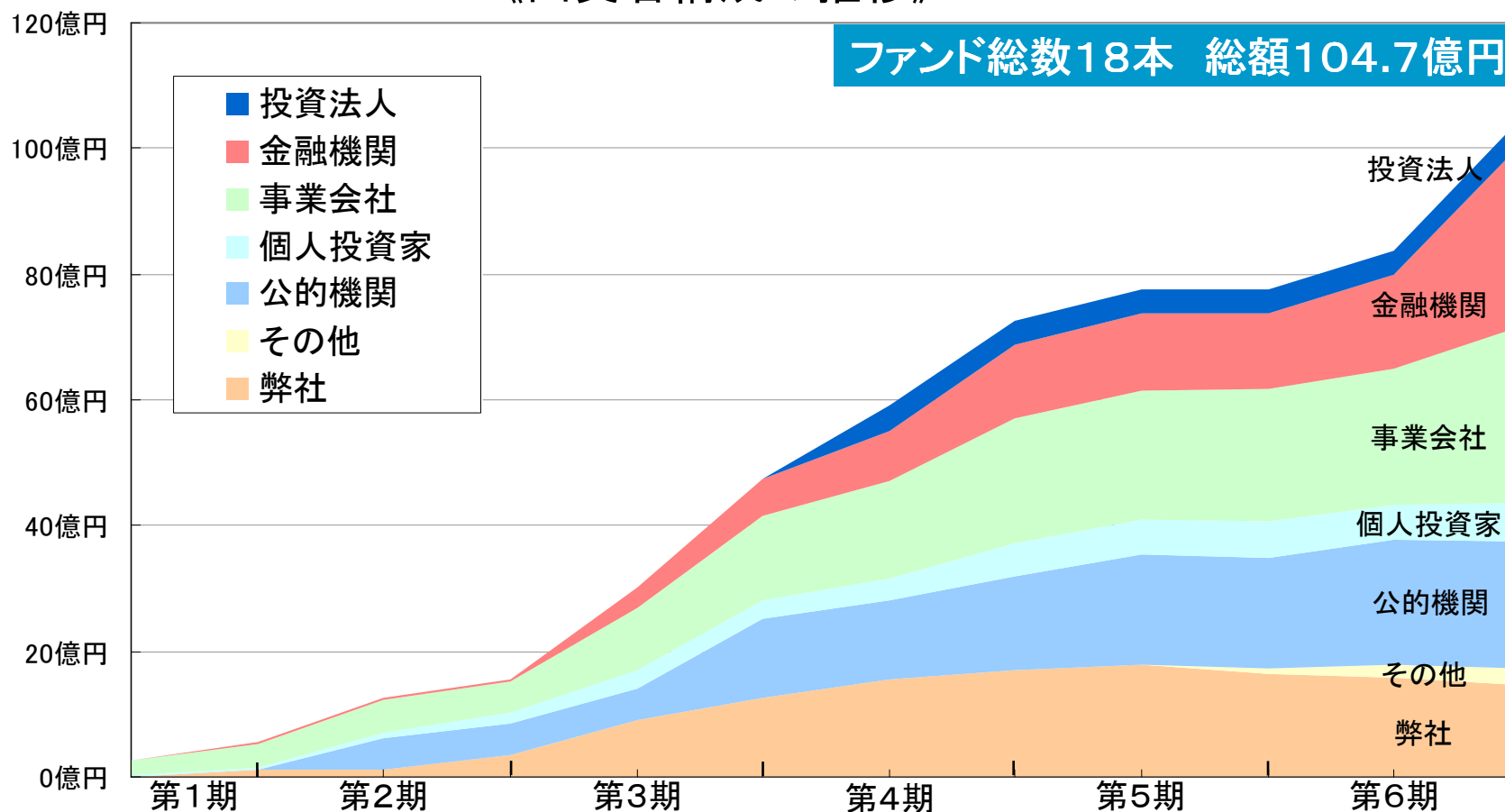


2004年1月	<b>みえ新産業創造投資事業有限責任組合</b>	6.6億円
	三重県からの出資を受ける自治体ベンチャーファンド。三重事務所を設置。ファンド総額の増額を予定。	
3月	<b>つくばベンチャー企業育成投資事業有限責任組合</b>	5億円
	関東つくば銀行(本店:茨城県土浦市)との二人組合。	
8月	<b>アーバン・エフブイシー・ベンチャー育成投資事業有限責任組合</b>	3億円
	関西アーバン銀行(本店:大阪市中央区)との二人組合。	
8月	<b>フューチャー七号投資事業有限責任組合</b>	1.5億円
	FVCのフラッグシップファンド。出資を受け入れ中。	
8月	<b>投資事業有限責任組合えひめベンチャーファンド2004</b>	5億円
	愛媛銀行(本店:愛媛県松山市)との二人組合。	
8月	<b>ニッセン・フューチャー1号ベンチャー支援ファンド</b>	6億円
	株式会社ニッセン(本社:京都府京都市)との二人組合。 株式会社ニッセンとの相乗効果が期待できるベンチャー企業に投資。	

**計6組合 27.1億円**

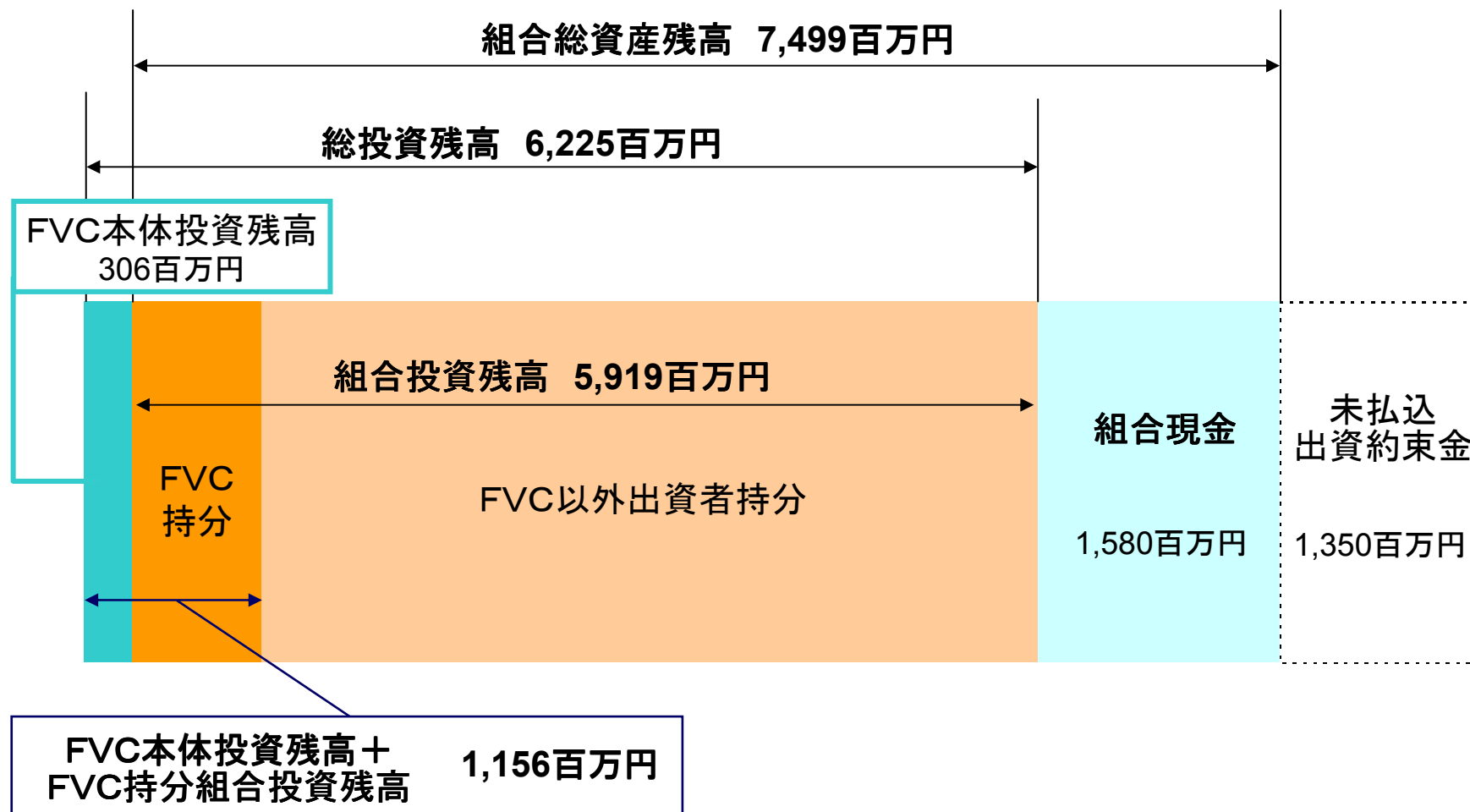
# ファンド・運用資産の概況

## 《出資者構成の推移》



2004年3月 厚生年金基金から受託

# 運用資産分析

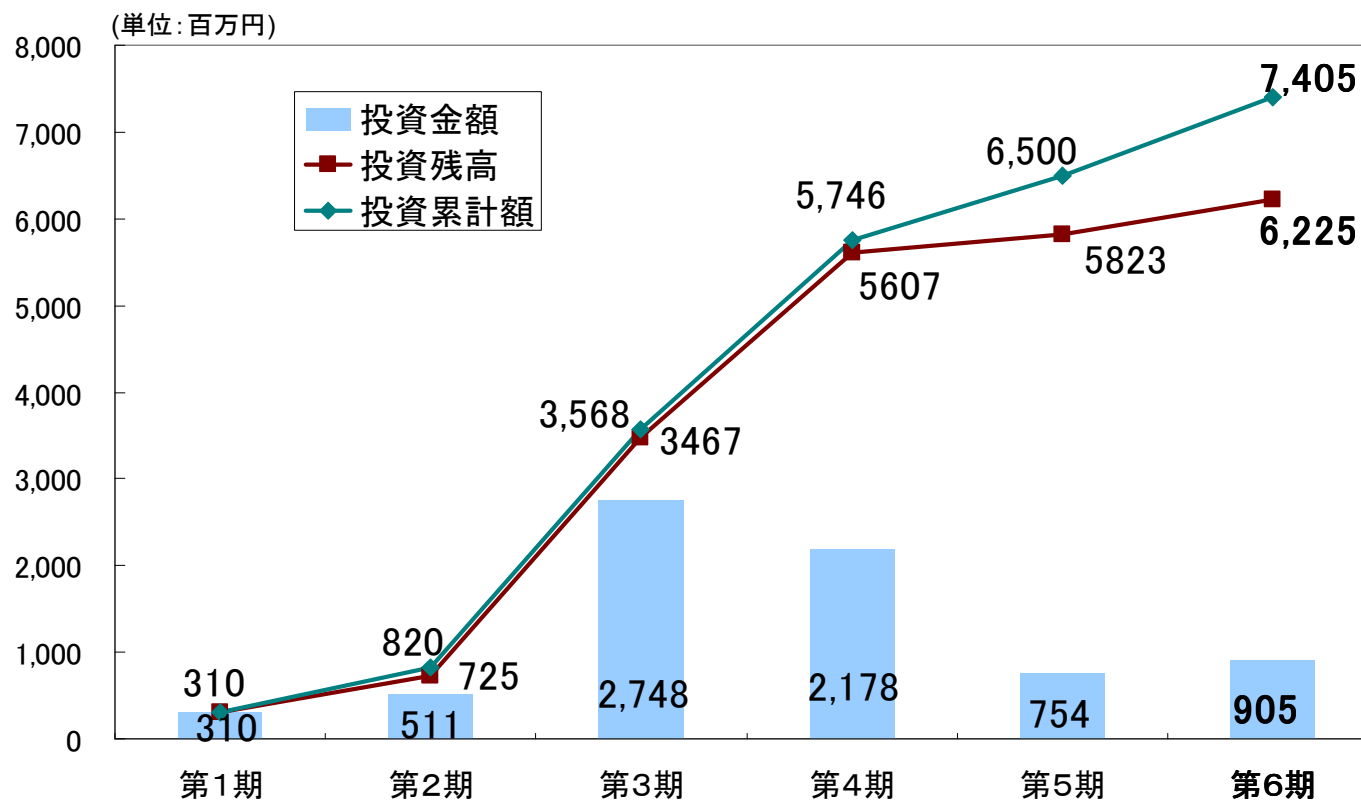


※ 上記数字は8月末の数値であり、組合決算の数値ではないため、  
当社貸借対照表における「営業投資有価証券」とは異なります。  
※ 組合現金には、分配予定のものを含まず。

# 投資金額の推移(本体+組合)

第6期の投資実行額

905百万円 27社



投資先企業数【累計】	8社	21社	67社	102社	123社	143社
投資先企業数【残高】	8社	19社	65社	100社	116社	128社

# FVC投資先上場企業



## 第6期に上場した企業

**株式会社ケア21**  
大阪市北区

大証ヘラクレス  
2003/10/16

証券コード  
2373

24時間巡回型ホームヘルプサービス業務、  
介護用品・機器の販売、配食サービス等

**ホームヘルパー事業立ち上げ時の事業計画策定を、FVCが支援**

投資時期 2000年1月  
投資株価 5万円



投資倍率(初値ベース) **12倍**

**アーリー投資の結果が出るようになってきた**

**ご参考** 2004年10月に投資先企業3社が上場予定

**株式会社ワイズマン**  
岩手県盛岡市

ジャスダック  
2004/10/18

3752

医療・福祉施設向けコンピュータシステムの開発および販売

**「いわてインキュベーションファンド」県内第1号投資企業**

**初値ベース投資倍率 10倍**

**株式会社カワムラサイクル**  
兵庫県神戸市

東証マザーズ  
2004/10/26予定

7311

車椅子(手動、電動、チタン製、アルミ製、スチール製)の製造・販売

**21LADY株式会社**  
東京都千代田区

名証セントレックス  
2004/10/28予定

3346

1.ライフスタイル産業の総合支援事業 2.リテイルチェーン専門ファンドの運営とファンドを用いたインキュベーション事業



# 直近5カ年の業績推移 ～ 損益計算書



(単位: 百万円)

	第2期 2000/8月期	第3期 2001/8月期	第4期 2002/8月期	第5期 2003/8月期	第6期 2004/8月期
売上高	136	355	410	363	535
うち投資事業組合等管理業務	52	132	213	221	228
うち営業投資有価証券売上高	8	43	25	33	178
うちコンサルティング業務	75	172	162	101	121
売上原価	52	161	373	520	355
うち投資損失引当金繰入額	-	-	31※	52	6
販売費及び一般管理費	71	164	195	150	167
営業利益	13	30	△ 158	△ 228	13
経常利益	9	29	△ 160	△ 224	9
当期(中間)純利益	8	25	△ 228	△ 204	4

※ 第4期ではこのほか、「過年度投資損失引当金繰入額」65百万円を特別損失で計上しております。

# 直近5カ年の業績推移 ～ 貸借対照表 フリーキャッシュフロー



(百万円)

	第2期 2000/8月期	第3期 2001/8月期	第4期 2002/8月期	第5期 2003/8月期	第6期 2004/8月期
営業投資有価証券	265	1,217	1,506	1,455	1,127
投資損失引当金	-	-	96	106	112
負債	52	213	509	658	547
うち、間接ベンチャーキャピタル制度※を利用	30	135	205	205	305
株主資本	1,222	1,248	1,288	1,091	1,089
株主資本比率	96%	85%	72%	62%	67%
資産合計	1,274	1,460	1,797	1,749	1,637
フリーキャッシュフロー	△ 202	△ 861	△ 626	△ 90	267

## ※ 間接ベンチャーキャピタル制度

自治体のベンチャー支援財団が民間ベンチャーキャピタルに投資原資を預託し、間接的にベンチャーへの投資を行う制度。投資は新株予約権付社債で行われます。  
ベンチャー支援財団は預託した投資原資の7割を債務保証します。

### 3. 参考資料

(参考資料)  
**運営中のファンド一覧**

ファンド総数18本 総額104.7億円



組合名(通称)	組合設立日	総額(百万円)	特色
フューチャー一号ファンド	1998/11	250	日本初の投資事業有限責任組合
フューチャー二号ファンド	1999/06	1,000	中小企業総合事業団が始めて民間VCに出資
フューチャー三号ファンド	2000/08	1,250	「特定投資事業組合」の確認を受けたファンド
フューチャー四号ファンド	2001/07	1,150	「特定投資事業組合」の確認を受けたファンド
フューチャー五号ファンド	2002/01	720	「特定投資事業組合」の確認を受けたファンド
フューチャー六号ファンド	2002/07	140	
フューチャー七号ファンド	2004/08	150	最新のFVCフラッグシップファンド【募集中】

**自治体主導型ベンチャーファンド**

石川県ベンチャー育成ファンド	2001/02	1,500	地方の自治体ファンドでは日本で初めてのファンド
いわてインキュベーションファンド	2002/04	1,000	東北地域では初めての自治体ファンド
みえ新産業創造ファンド	2004/01	660	三重県地元密着型の自治体ファンド【募集中】

**二人組合理型ベンチャーファンド**

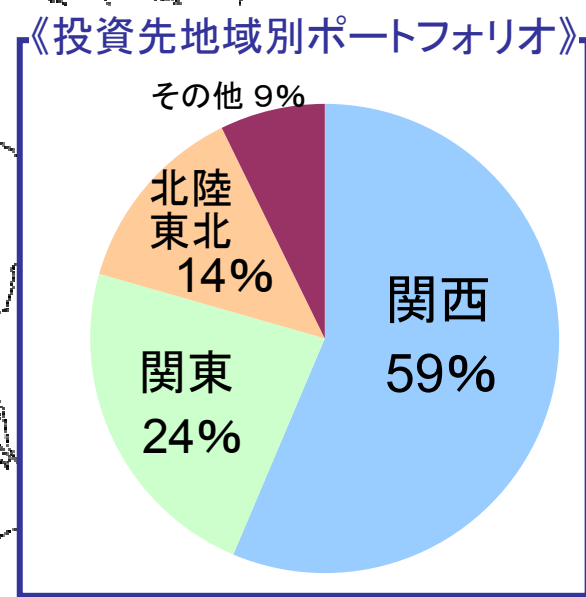
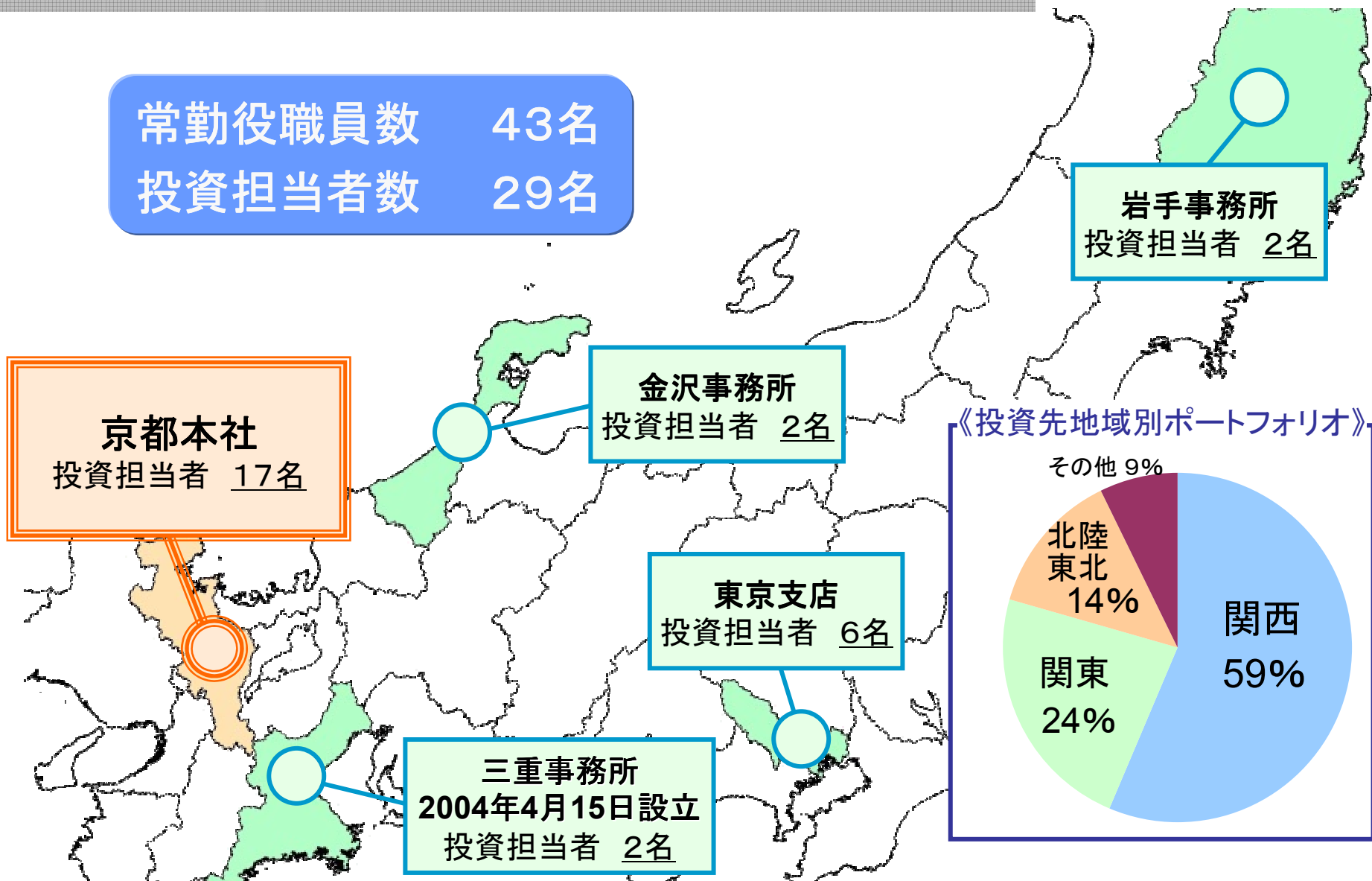
つくばベンチャーファンド	2004/03	500	(株)関東つくば銀行とのファンド
アーバン・エフブイシーベンチャー育成ファンド	2004/08	300	(株)関西アーバン銀行とのファンド
えひめベンチャーファンド2004	2004/08	500	(株)愛媛銀行とのファンド
ニッセン・フューチャー1号ベンチャー支援ファンド	2004/08	600	(株)ニッセンとのファンド

**特色あるベンチャーファンド**

フューチャーVBファンド	2001/11	410	ベンチャービジネス証券投資法人(大証上場)から出資
フューチャーエンジェル一号ファンド	2002/04	84	一口100万円の個人向けエンジェルファンド
京都イノベーション育成ファンド	2002/05	60	大学発ベンチャーを投資対象とする産学連携ファンド
関西を元気にするファンド	2002/07	200	「関西を元気にする会」と組成したファンド

(参考資料)  
投資担当者人員配置

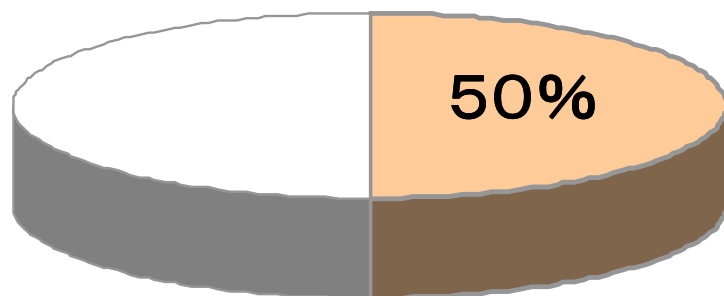
常勤役職員数 43名  
投資担当者数 29名



# (参考資料) 経営へのコミットメント

- **定期訪問** 原則、月に一回は投資先への訪問を徹底します。定期的に訪問することで投資先の**タイムリーな状況把握**を行うとともに、投資先にとっては**IPO(株式公開)に対する再認識**を促す効果とよい意味での緊張感を生みます。
- **決議機関への参加** 投資先の役員会・経営会議・営業会議・開発会議等の決議機関へ積極的に参加し、投資先の成長戦略について共に考えることで**将来ビジョンを共有**します。またそれにより投資担当者と投資先の経営陣、従業員の方々との一体感が増します。
- **アドバイス業務** 事業計画・資本政策を始め、組織変革及び教育を含む人事全般、株式公開準備等その他様々な戦略に対してアドバイスをを行います。
- **マッチングサービス** 販売先・仕入先や提携先、各金融機関(ファイナンシャルアレンジ)、監査法人、弁護士・弁理士、技術評価機関、証券代行・人材紹介会社等、投資先の状況に応じてFVCネットワークを適材適所に紹介します。
- **直接業務支援** 現場主義の延長上の支援として直接業務支援があります。様々な規定の整備や必要資料の作成及び販促活動・営業活動を支援します。こうした**生きたハンズオン**(支援)の実践は、他の機関にはない差別化の一つであると自負しております。

## 《リードインベスターとして投資している先》



非常勤取締役派遣社数  
18社